

# 「藤沢の文化芸術を考える会」連続学習会・シーズン3

## 「生活・文化拠点（市民会館等）再整備事業」に向けて

主催：藤沢の文化芸術を考える会

藤沢市では藤沢市民会館、(旧)南市民図書館に加え、市民ギャラリーや常設展示室、浸水対策施設等も含めて10施設以上の複合化による再整備の検討が進められており、2023年度にはマスタープラン（基本計画）をもとにPFIによる事業者選定を行う予定です。

私たち藤沢の文化芸術を考える会では、今回の再整備事業にあたって事業が豊かな文化芸術を醸成し、心豊かな文化が育つように、市民の意見交換会や学習会を重ねてきました。今回の連続学習会は、第3弾として以下の通り開催することにしました。

第1回は、彩の国さいたま芸術劇場のゼネラルアドバイザーで、岡山芸術創造劇場ハレノワのプロデューサーにも就任された渡辺弘さんをお迎えします。渡辺さんは演劇ジャーナリストとして活動の後、銀座セゾン劇場の開設準備、制作業務、シアターコクーン の運営・演劇制作、まつもと市民芸術館のプロデューサー兼支配人として運営・制作業務に携わるなど、民間と公立の垣根を超えて多岐にわたる劇場運営に関わった経験をお持ちです。今回は、劇場の役割という観点でお話を伺う予定です。

第2回は、映画「ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス」の上映会です。図書館の知られざる舞台裏を描いた3時間に及ぶドキュメンタリーで、劇場大ヒットの話題作です。建造物としても注目を集める世界最大級の図書館の役割や活動内容を理解する上でも貴重な作品です。

なお、第3回は、藤沢市の美術館建設運動など、美術に関わる藤沢市の歴史や変遷についてもお聞きしたいと思います。現在、講師を検討中です。

### 連続学習会 概要

#### 1. 第1回：渡辺弘氏（わたなべひろし）

（彩の国さいたま芸術劇場のゼネラルアドバイザー・岡山芸術創造劇場ハレノワのプロデューサー）

内 容：劇場の持つ役割と可能性

日 時：2023年4月15日(土) 17:30 開始（開場 15分前）～19:45 終了予定

場 所：藤沢市民会館 第2展示ホール

#### 2. 第2回：映画「ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス」

日 時：2023年5月20日(土) 13:30 開始（開場 30分前）～16:45 終了予定

場 所：ミナパーク：303号室

#### 3. 第3回：美術の可能性をめぐって

内 容：検討中

日 時：2023年6月25日(日) 17:30 開始（開場 15分前）～19:45 終了予定

場 所：藤沢市民会館 第2会議室

■ 資料費：各回 800 円（賛同人 500 円：会場で賛同人申込みできます）

■ 申 込：藤沢の文化芸術を考える会（会場の人数制限のため事前申込をお願いします）

TEL/0466-24-1747 FAX/0466-24-4237 MAIL/fujisawaenkan@icloud.com（藤沢演劇鑑賞会）

## 渡辺 弘氏 (わたなべひろし)



彩の国さいたま芸術劇場ゼネラルアドバイザー  
岡山芸術創造劇場プロデューサー

1953年、栃木県生まれ。80年より情報誌「シティロード」の編集、演劇ジャーナリストとして活動。84年、西武百貨店文化事業部に入社し「銀座セゾン劇場」の開業準備、87年開場より制作業務を行う。89年、東急文化村に入社し Bunkamura の開業準備に携わり、開場後は「シアターコクーン」の運営、制作業務を行う。2003年より長野県松本市の「まつもと市民芸術館」の開業準備に携わり、04年の開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作業務をおこなう。06年10月より（公財）埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場）に移り、業務執行理事兼事業部長に就任、現在はゼネラルアドバイザー。22年10月より（公財）岡山文化芸術創造の岡山芸術創造劇場プロデューサーに就任。

## 映画 ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス

世界中の図書館員の憧れの的である世界屈指の知の殿堂、ニューヨーク公共図書館の舞台裏を、フレデリック・ワイズマン監督が捉えたドキュメンタリー。19世紀初頭の荘厳なボザール様式の建築物である本館と92の分館に6000万点のコレクションを誇るニューヨーク公共図書館は、地域住民や研究者たちへの徹底的なサービスでも知られている。2016年にアカデミー名誉賞を受賞したドキュメンタリーの巨匠ワイズマンが監督・録音・編集・製作を手がけ、資料や活動に誇りと愛情をもって働く司書やボランティアの姿をはじめ、観光客が決して立ち入れない舞台裏の様子を記録。同館が世界で最も有名である理由を示すことで、公共とは何か、そしてアメリカ社会を支える民主主義とは何かを浮かび上がらせていく。リチャード・ドーキンス博士、エルビス・コステロ、パティ・スミスら著名人も多数登場。第74回ベネチア国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞。

